

加盟団体紹介

ドッジボール

誰もが体験したことがあるドッジボール。地域ごとに様々なスタイルで親しまれているスポーツですが、これを公式ルールに則った競技として協会は普及活動を行っております。もちろん、競技ドッジボールにおいても、性別や年齢関係なく、誰もがヒーローになることができます。投げる行為ひとつにしても、スピードが速いボールを投げる選手、パスをミスなく繋ぐ選手、コントロール良くアタックを投げる選手、戦略を考えて周りの選手に指示を出すことができる選手…など磨くスキルは多岐にわたります。さらに、投げるのが苦手であっても、キャッチが上手な選手や、声を出してチームを盛り上げる選手など、自分の武器を確立し活躍している選手もたくさんいます。

当協会はそんな長崎県のドッジボールプレイヤーを今後とも支援し、更なる発展に繋がるよう精進してまいります。ドッジボールにご興味ある方は当協会ホームページをご確認のうえ、お問い合わせください。



「ながさきこども場所」の 取組に参加してみませんか？

地域の中に安心して過ごせる居場所や多様な人とのつながり、様々な体験の機会を確保していくことが大切であり、こうした居場所や体験を通じたこどもたちの成長が、本県の明るい未来につながるものと考えています。このため、県では、こどもの多様な体験を行う皆さんを応援しています。皆さんも「ながさきこども場所」の取組に参加してみませんか？

取組例

- 「ながさきこども場所充実アクション」へのご参加
こどもの体験や居場所づくりを行う活動者
同士の交流会等をご案内
- 専用ポータルサイトにて皆様の活動の情報発信
- 専用のInstagramフォローによる情報収集 など



詳しくは、Instagram や「ながさきこども場所ポータルサイト」をご覧ください



お問い合わせ
長崎県こども未来課
こども企画班
095-895-2683



ながさきこども場所
充実アクション



ながさきこども場所
ポータルサイト



Instagram

スポーツくじ

BIG

LOCO

WINNER

DUNK

募集!

レクスポ関係情報のお知らせ

支援!

すこやかシニアバンクのお知らせ

(公財)長崎県すこやか長寿財団では、シニア世代の社会参加促進事業として「すこやかシニアバンク」事業を始めました。

レクリエーションの公認指導者の皆さんでその知識・経験・技能を活かしたいと思われる方がおられたら下記の連絡先まで問い合わせください。

問い合わせ先

公益財団法人長崎県すこやか長寿財団
TEL:095-847-5212
Mail:info@sukoyaka-nagasaki.or.jp

全国レク大会熊本大会に参加しよう

毎年開催される全国レクリエーション大会。今年は、隣県の熊本県で11月21日(土)~23日(月祝日)開催されます。今年で、熊本地震から10年ということで復興している熊本を応援しようと計画がスタートしました。しかし7月末に再び襲った熊本地震での被災の傷も残るところですが、熊本を応援しようとニュースポーツの交流大会や各種体験の広場も開催されます。中でも研究フォーラムでは、33のセッションが開催されます。全国からの発表者による福祉、レクリエーションスポーツ、学校レクリエーション、防災などで多様な内容です。公認指導者の方々には大会のパンフレットが日本レクリエーション協会より送付されていると思います。詳しくは下記のホームページをご覧ください。

(公財)日本レクリエーション協会
<https://recreation.or.jp/activities/event>

(一社)熊本県レクリエーション協会
<https://kumareku.jp>

ボッチャをやってみよう

ボッチャについての問い合わせがあります。「地域のサロンでやってみたい」「親子でやってみたい」というお尋ねです。三世代交流事業やPTAで行う親子での学級レクや福祉の体験、人権学習での体験学習等での実施もあるようです。正式な競技となりますとバドミントンコートぐらいの広さが必要です。レクリエーション色を強くして、アレンジされたものとして…

ターゲットボッチャ

カーリングとボッチャが合体

スクエアボッチャ

4方向から投げるボッチャ

バレーのハーフコート利用(9m×9m)などは、広い場所がいらず実施出来ます。

用具や運営法など相談を受けますので、レクリエーション協会事務局までお尋ねください。



用語の貸し出し早目に

- モルックやボッチャ、室内ペタンク、ディスクゲッター等ニュースポーツの用具を貸し出します。
- 最長5日間貸し出します。
- 利用が集中する秋や夏休みなど早目に申請をお願いします。
- スポーツ振興のため、対外試合や遠征に本会のマイクロバスの利用も可能です。事務局でお尋ねください。

転居された場合は連絡願います

日本レクリエーション協会や本会からの広報誌やお知らせが届かず、重要な連絡ができなくなりますので、転居の際は、長崎県レクリエーション協会事務局までお知らせください。住所変更や氏名の変更などは、レクぽサイトからも可能です。

長崎市
レクからの
知らせ

長崎新春ウォーク のお知らせ

スタッフ募集

主な内容 受付、安全見守り
※交通費支給

日時 令和9年1月10日(日)10時～12時

集合場所 長崎市松山市宮陸上競技場

コース 松山陸上競技場～梁川公園～城山台～稲佐山山頂



長崎県レクリエーション協会 創立50周年を機に

～変えるそして変わるへ～



1977年4月に設立された長崎県レクリエーション協会は、来年創立50周年を迎えます。歴史を紐解けば、昭和41年に本県におけるレクリエーション運動の推進母体として「長崎県レクリエーション団体連絡協議会」が発足しています。この年、第1回目の全国レクリエーション大会が開催されています。その後、1周年目の長崎国体の開催後、「長崎県レクリエーション指導者協議会」を母体として長崎県レクリエーション協会が設立されています。1977年(昭和52年)4月17日大村市の中央公民館にて発足し、18団地、484名の会員、初代会長は東政徳氏でした。

さて、経済も右肩上がりで企業でのレクリエーションや青少年健全育成のレクリエーションの時代から、少子高齢の時代へと社会が大きく変化してきました。福祉やスポーツ等レクリエーションが連携し関わっていくフェーズが大きく変わってきています。

レクリエーション指導者が舞台上でスポットを浴びて中心となっていた考えから、子どもたちや高齢の方々などが中心に、指導から支援へと対象者の方が真ん中へと変わってきました。芸人さんのようなレクリエーション指導者から集団のコミュニケーションの深化を促すファシリテーターへと立ち位置が変わってきています。

創立50周年を機に、時代の要請に沿うレクリエーションの提供へと本会も変わっていかなければなりません。会員の高齢化や減少への対応、財政基盤の確立など課題はとても大きいのですが、「変わり歩む」レクリエーション協会へと変わってまいりますので、皆様の大きな支援をお願いします。

専務理事 平山 仁

スポーツくじ

BIG

1000

WINNER

DUNK

これからももっと、
私はスポーツを楽しむんだ。

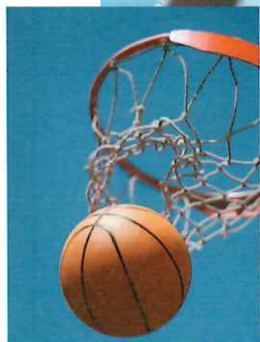
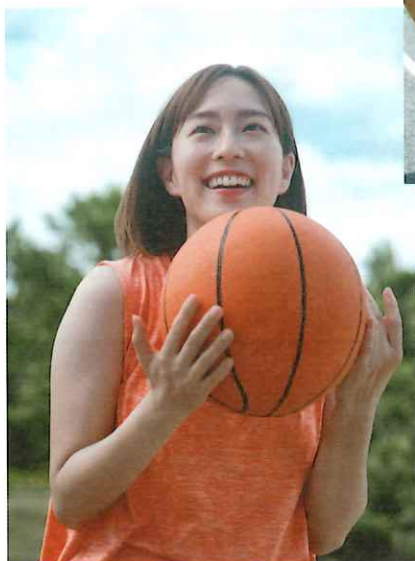
卓球歴24年。バスケ歴1日。

卓球の200倍もの重さがあるボールは、
なかなか言うことを聞いてくれない。

それでも、体を動かすだけで気持ちがいい。

初対面でもあっという間に仲間になれる。

競技人生での楽しさとは違う、
スポーツの楽しさに出会えた。



スポーツを極める人も、楽しむ人も、
すべての人のために、
スポーツくじの収益は使われています。

スポーツくじ   

スポーツくじは、スポーツと人を育てる仕組み。